

- 人権大学講座開講！ -

7月14日(木)第1回目の人権大学講座を開催しました。「インターネットと差別」をテーマに、公益財団法人反差別・人権研究所みえの常務理事兼事務局長松村元樹さんにご講演いただきました。

次に、松村さんのお話の一部をご紹介します。



- インターネットは時間や場所の制約がなく、情報が簡単に発信できるなどの特性があるが、その反面、いつでもどこでも差別落書き行為などが可能である。そのため、差別や偏見の流布が従来より深刻になっている。
- マジョリティ(社会的多数派)の特権に気づくことが大事である。自分自身が努力せず偶然もっている属性(「学習塾に通っている」「病気や障がいのある家族がいない、介護しなくてよい」などの条件)がマジョリティ側にあることにより、知らないうちに優位性を有している。そのため、自分もつ特権に気づかないまま、無意識に人を傷つけ、差別を支えていることがある。
- 能動的に学び、知識をアップデートし続けること、特権に気づいた人が身近な人にたちに発信・共有することなどにより、「差別をしない・支えない・なくす」努力をしていくことが大切である。

ここには書き切れきれないほど、たくさんの気づきをいただいた時間となりました。今年の人権大学講座はあと5回開催の予定です。ぜひご参加ください。

佐那河内村人権教育研究協議会・佐那河内村教育委員会



- 佐那河内村立図書館 (農振センター3階)
- 開館時間 / 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
- 閉館日 / 土・日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)
- お問い合わせ 教育委員会 図書館担当

「ようこそ絵本の世界へ」 絵本の展示会を開催しました

7月12日(木)、10時から14時まで、0~2歳児を対象とした絵本や大型絵本などを見たり触れたりしていただくため、「絵本の展示会」を開催したところ、健康福祉課が実施した、「離乳食講習会」、「1歳児・2歳児歯科・栄養相談」に参加されたみなさんに立ち寄っていただきました。

部屋の中でお母さんと一緒に絵本を読む子、本を触ってめくって興味津々の子、部屋に入るのは少し抵抗があるけど、廊下に展示していた大型絵本を見て帰ってくれた子など、それぞれ絵本と触れる時間をもっていただけました。

小さな展示会ですが、絵本を楽しむ場所、おうちにはない絵本に出会える場所になればいいなと願っています。次回は11月に開催予定で村HPなどで案内します。どなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください♪

